

平成19年度理事会

平成20年度事業計画(原案)など決める

「新学校種創設」「現行制度の充実」などを柱に

村信孝会長、文部科学省の加茂川幸夫生涯学習政策局長の発言内容を紹介したあと、検討会議の進捗状況について説明。それによると、3月26日の第6回検討会議で、残る3人の委員からヒアリングを行った上で、次の段階として論点を絞り込む作業に入ることが明らかにされた。

また寺門室長は検討会議の委員から出された様々な議論を整理して、コンセンサスが得られる作業を続けていくという考えを示し、さらに「全専各連から提案のあった新しい学校種の創設、現行制度の充実という2点については、今後、議論を深めていかなければならないのは前者であると改めて考えている」と述べた。

このあと、中込会長の指名により、岩崎幸雄副会長が議長に就任、議事録署名人には浦山哲郎理事、大森正晴理事が就き議案の審議が行われた。

第一号議案 平成20年度事業計画原案が上程され、まず総務運営委員会の岡本比呂志委員長が平成20年度の運動方針・基本理念について説明。岡本委員長は「①学校教育法第一条に規定される職業教育等を主たる目的とする新専門学校の創設②現行の専門学校制度の位置付けの明確化と格差是正等を掲げた基本理念に関する背景などを述べたあと、国に対し

では、職業教育等の振興の一体的改革として、この2点を速やかに実現するよう求めていくと語った。また事業計画の原案では、具体的な活動方針として①新専門学校の創設②高等職業教育機関としての専門学校の振興に向けた主要な諸施策の推進③他の高等教育機関との格差の是正など7本の柱を立て、これらの諸施策の実現に向けて全力を挙げていくとしている。

この運動方針を受けて理事会では「専修学校の振興に関する検討会議」等への対応も審議され、「新学校種の創設」と「現行の専門学校制度の充実・向上」について一条校化推進本部を中心に制度の検討や啓発、渉外折衝活動を活発に行う運動を強力に推進していくことなどが審議されたほか、平成20年度の会議の開催や委員会活動方針なども話し合われたあと、第一号議案が採決され、これを承認した。



「一条校化」をめぐる活発な意見の交換も

続いて第二号議案・平成20年度収支予算原案が上程され、財務委員会の齋木寛治委員長が収支予算書(案)を説明し、審議の上、満場一致で承認された。



平成20年度の事業計画(原案)などを承認した本協会理事会



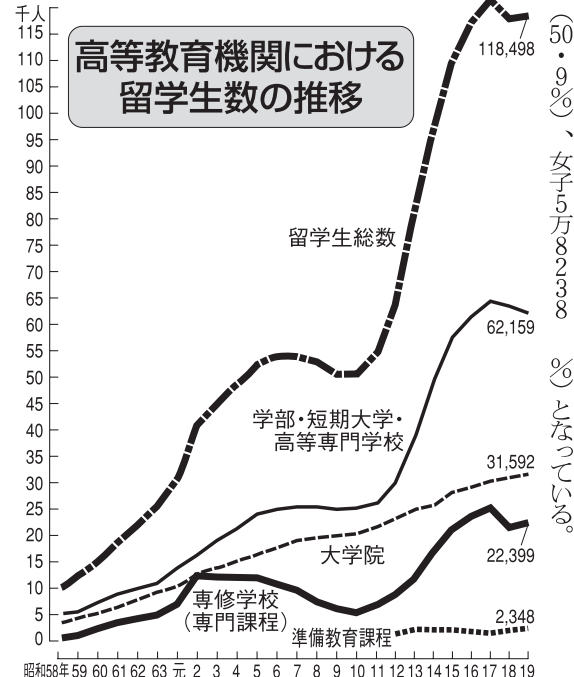
中込三郎会長

本協会(中込三郎会長)は2月29日、東京・千代田区のアルカディア市ヶ谷で理事会を開き、平成20年度事業計画原案並びに平成20年度収支予算原案を審議し、満場一致でこれを承認した。

専門学校の置かれた環境が大変厳しいという認識を示した。その上で、「地域の産業を支えている専門学校に焦点が当てられていない。文部科学省に設置された検討会議がまさに佳境に入ろうとしている今こそ、みんなで一致協力して新しいステージに向かって歩んでいく」と呼びかけて、新しい学校種の創設に意欲を見せた。

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)がこのほどまとめた「平成19年度外国人留学生在籍状況調査(留学生在入れ概況)」によると、我が国の留学生数は11万8498人で前年より5711人増加(0.5%増)していることが分かった。増加したのは専門学校(837人)、大学院(682人)、準備教育課程(330人)で、大学(910人減、短期大学(364人減)、高等専門学校(4人減)はいずれも減少した。

これを校種別で見ると、留学生在が最も多いのは大学(学部)で5万9510人、次に多いのが大学院で3万1592人、3番目が専



J検

「創る」「使う」「伝える」
情報検定

情報活用試験 ※文部科学省後援

<前期(一般試験)>
試験日 平成20年6月15日(日)
出願期間 平成20年4月1日(火)~5月12日(月)
実施級/受験料
1級.....4,000円
2級.....3,500円
3級.....1,500円

情報システム試験 ※文部科学省後援

システムエンジニア認定
プログラマー認定
<前期>
試験日 平成20年9月7日(日)
出願期間 平成20年6月1日(日)~7月14日(月)
実施級/受験料
基本スキル.....2,500円
システムデザインスキル.....2,000円
プログラミングスキル.....2,000円

情報デザイン試験 ※文部科学省後援

ビジュアルデザイン分野認定
インタラクティブメディアデザイン分野認定
プレゼンテーションデザイン分野認定
<前期>
試験日 平成20年9月7日(日)
出願期間 平成20年6月1日(日)~7月14日(月)
実施級/受験料
必須共通科目.....2,000円
ビジュアルデザイン.....1,500円
インタラクティブメディアデザイン.....1,500円
プレゼンテーションデザイン.....1,500円

詳細はホームページをご覧ください
財団法人 専修学校教育振興会 検定試験センター 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-9
TEL.03-5275-6336 J検ホームページ http://www.sgec.or.jp/jken

私たちは、学生生徒災害傷害保険を通じて「情報検定(J検)」を応援しています。

東京海上日動火災保険株式会社

三井住友海上火災保険株式会社
株式会社 損害保険ジャパン

専修学校等振興議員連盟総会

衆・参国會議員が108人出席

懸案事項の実現に向けて全面支援

専修学校等振興議員連盟(町村信孝会長)の総会が2月28日、東京・千代田区紀尾井町のクランドプリンスホテル赤坂で開かれ、衆・参議院議員108人(代理含む)が出席して専修学校等の振興策について意見を交換した。

総会は塩谷立事務局長(衆議院議員)の司会で進行され、まず河村建夫副会長・幹事長(衆議院議員)がこの総会を契機に議連としてこれまで以上に全国各地で頑張っている皆さんの



司会進行を務める塩谷立議連事務局長

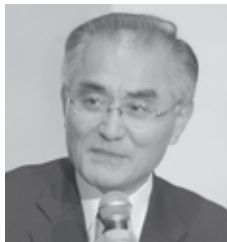
意見を十分にお聞きし、専修学校各種学校を応援していきたい」と開会の言葉を述べた。

続いて、町村信孝会長(衆議院議員)が専修学校の一条校化について「文部科学省に設置された検討会議でスピーディに議論をまとめ、中教審を経て、国会への改正法案を出してもらいたい」と述べ、「それに相応しい中身をどう築き上げていくか、議連としても皆様と手を携えて取り組んで参りたい」とあいさつした。

現況報告



中込三郎本協会会長



文部科学省・加茂川幸夫生涯学習政策局長

また渡海紀三朗文部科学大臣は、議連の一人としてあいさつ。「専修学校は制度創設以来、30有余年にわたって職業という重要な教育を担ってきた。社会に有為な人材を育てているという誇りを持って、ますます頑張りたい」と述べ、「専修学校にエールを送った」。

全専各連からの状況報告で、中込三郎会長は専修学校を取り巻く環境について説明したあと、「私たちの提案は、新しい学校種の創設による職業教育体系の構築とともに、現行制度で引き続いて教育を展開する専修学校各種学校についても制度の改正をお願いしたい」と述べ、新しい学校種を学校教育法の第一条に位置付けるよう訴えた。

一方、文部科学省の加茂川幸夫生涯学習政策局長は、同省に設置された「専修学校の振興に関する検討会議」について、いろいろな学校種の代表、有識者など様々な立場の人たちによるメンバーで職業教育を議論する場が設けられた意義を強調し、「共通のテーブルで議論することは

大変な前進だ」と評価した。さらに、検討会議では「職業教育は多くの学校が関係し、それぞれの立場から意見を伺っている」と述べた上で、「広範な議論の中で意見の集約がなされて、関係者の合意が図られることができれば望ましい」と語った。

このあと、意見交換に移り、山梨県専修学校各種学校協会の会長を務める赤池誠章議連事務局長(衆議院議員)が「検討会議では短大関係者が厳しい反対意見を述べていると聞いている。会議における合意形成の時期がいつ頃になるのか、今後の大きなスケジュールや見通しについてお話ししていただきたい」と文部科学省に質問した。これに対して加茂川生涯学習政策局長は「専修学校の振興に関する会議ではあるが、各学校種においても、それぞれ職業教育とどう関わっていくのか、また職業教育全体と学校制度がどのようなバランスを取っていくべきなのか、この議論は避けて通れない

必要がある。また評価の問題も当然出てきます。さらに、これからの学生の動向を見ましても、ダブルスクールと言われるように、生涯学習への関心が非常に高まっているわけです。その受け皿として専修学校の位置づけというものにも関心が高まっていくと思います。すぐ一条校化という話になってしましますが、こうした現状から議論していただき、方向性を示していただきたいと考えています。この総会を契機に、議連としても更に専修学校各種学校を応援していきたいと思っておりますし、全国の各地で頑張っている皆さんの意見も十分に踏まえ、対応して参りたいと考えております」。



衆・参国會議員108人が出席して盛大に開かれた議連総会

専修学校支援に決意も新た



町村信孝議連会長



河村建夫議連副会長・幹事長



渡海紀三朗文部科学大臣



赤池誠章議連事務局長次長



中締めあいさつを述べる白井日出男議連副会長

まで数回、議論を重ねているようですからそろそろ結論が出るのではないのでしょうか。その後は中教審ということになりますので、次の通常国会には改正法案を出していただきたい。

しかし、ただ一条校になれば目的が達成されたということではなく、それに相応しい中身を、これからどのようにしてお互いに築き上げていくのか。議連としても皆様と手を携えて取り組んで参りたいと存じます」。

◆渡海紀三朗文部科学大臣(衆議院議員) 専修学校制度が成立したのは昭和51年。30有余年にわたって職業教育という重要な教育を担ってきました。特に一昨年の教育基本法の改正において、職業教育が位置づけられたことにより、皆さんの役割は非常に重要になってきていると認識しております。今、高等教育機関の中で一番話題になっていることは、高等教育の質をどうやって担保していくのか、ということです。例えば、大学全入時代といわれておりますが、そういう時代において、学生の学力をどうやって評価していくのか、大変重要な問題であります。専修学校はそのことにすでに応えていると私は思っております。何しろ学生・生徒数も70万人という大変な人数をかかえておるわけでございます。社会に有為な人材を育てるのだという誇りを持って、ますますご活躍頂きますようお願いいたします。議連の一員として、皆様のご要望にどう応えていくか、しっかり考えなければいけないと思っております。

実務に役立つビジネスの基礎知識と 社会人としてのマナーが身につきます。



- 第24回「B検」試験日程
 - 出願期間/平成20年4月1日(火)~5月20日(火)
 - 試験日/平成20年7月6日(日)<2級・3級>
- 検定料
 - 2級 3,800円、3級 2,800円
- 検定会場
 - 全国47都道府県約300会場で実施。

第25回 B検試験日<1級(1次)・2級・3級>平成20年12月7日(日)予定

- 1級 中堅幹部、グループリーダーに求められるマネジメント知識、IT(情報技術)活用、交渉術など
- 2級 計画の立て方、問題解決、会議のルール、ビジネス会話など仕事に必須のビジネススキル
- 3級 就職対策~新入社員に必要な社会常識とマナーを中心としたビジネス基礎能力

事務取扱先
財団法人 専修学校教育振興会 検定試験センター
TEL.03-5275-6336
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-9
B検ホームページ http://www.sgec.or.jp/bken/

私たちは、学生生徒災害傷害保険を通じて「ビジネス能力検定(B検)」を応援しています。



東京海上日動火災保険株式会社

三井住友海上火災保険株式会社
株式会社 損害保険ジャパン